

⑩

地区社会福祉協議会  
の推進  
【福祉課】

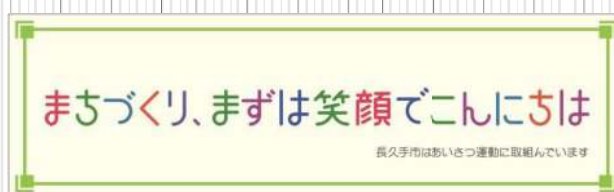
資料

外部評価実施日：令和元年8月5日（月）

# 令和元年度“「長久手市役所の仕事」通知表”の作成 ～長久手市行政評価・外部評価～

## 地区社会福祉協議会の推進

福祉部福祉課



1

## 1 施策概要（S票）

### ◆施策の名称

地区社会福祉協議会の推進

### ◆施策の開始の背景、経緯等

少子高齢化、人口減少社会を見据え、子ども・高齢者・障がい者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができるよう、住民に身近な圏域において、地域力向上の推進とともに、「地域共生社会」の実現に向けた事業を実施する。

2

## 2 施策の実施体制（S票）

### ◆組織体制、人員

#### ◎市福祉施策課

次長兼課長 1人

課長補佐 1人

福祉施策係 3人

#### ●社会福祉協議会

事務局長 1人

参事 1人

局長補佐 1人

地域福祉係（CSW） 4人

事業委託

3

## 3(1) 施策目的等（S票）

### ◆施策内容（どのような施策なのか）

- ・ 地区社協を設置し、地域課題を市民が主体的に解決を試みる体制づくり
- ・ 市民が把握した課題について、包括的に受け止め、必要に応じて適切な支援機関につなぐ体制づくり

### ◆施策対象（誰、何を対象にしているか）

市民

4

## 3(2) 施策目的等（S票）

### ◆施策意図（対象をどのような状態にしたいか）

市民が主体的に地域生活課題を把握して、自ら解決を試みることができる。

### ◆施策に係る取組

- ① 各小学校区ごとに地区社協設置及びCSWの設置
- ② 福祉のなんでも相談及び声かけネットワーク実施

## 4 施策の成果【取組①】（S票）

### ◆施策の取組

各小学校区ごとに地区社協設置及びCSWの配置

### ◆取組の平成30年度の成果・実績

- ・4地区（西・北・市が洞・南小校区）はすでに地区社協及びCSWの設置済み
- ・H30年度は、長久手小・東小校区にて地区社協の設置に向けた地域懇談会を実施し、各地区において地区社協に関する理解を深めた。  
（CSWは未配置）

## 4 施策の成果【取組①】（S票）

### ◆取組の平成30年度の費用・実績

地域力強化推進事業委託	32,149千円
-------------	----------

### ◆取組の平成30年度の市民参加数・実績

#### 地区社協の活動（4地区）

・ 運営委員会	477人
・ 地域福祉学習会	29人
・ 部会活動（認知症、閉じこもり・ひきこもり、子育て不安軽減）	1,347人
計	1,853人

7

## 4 施策の成果【取組①】（S票）

### ◆取組の令和元年度の成果・目標

長小校区及び東小校区に地区社協設置及びCSWの配置

### ◆取組の中期（おおよそ3年後）の成果・目標

部会活動を通じて、市民が地域生活課題を把握することができる。

### ◆取組の長期（おおよそ5年後）の成果・目標

部会活動を通じて、市民が主体的に地域生活課題を解決できる。

8

## 4 施策の成果【取組①】（S票）

### ◆取組の令和元年度の費用・見込み

地域力強化推進事業委託	42,904千円
-------------	----------

### ◆取組の中期（おおよそ3年後）の費用・見込み

地域力強化推進事業委託	43,000千円
-------------	----------

### ◆取組の長期（おおよそ5年後）の費用・見込み

地域力強化推進事業委託	43,500千円
-------------	----------

## 4 施策の成果【取組①】（S票）

### ◆取組の令和元年度の市民参加数・見込み

運営委員会等参加者	2,000人
-----------	--------

### ◆取組の中期（おおよそ3年後）の市民参加数・見込み

運営委員会等参加者	2,500人
-----------	--------

### ◆取組の長期（おおよそ5年後）の市民参加数・見込み

運営委員会等参加者	3,000人
-----------	--------

## 4 施策の成果【取組②】（S票）

### ◆施策の取組

福祉のなんでも相談と声かけネットワーク

### ◆取組の平成30年度の成果・実績

CSWによる地域課題を包括的に受け止める相談事業の実施

#### 【年間実績（4地区）】

・相談件数	延べ件数	3,286件
	実件数	1,511件

## 4 施策の成果【取組②】（S票）

### ◆取組の平成30年度の費用・実績

地域力強化推進事業 32,149千円

### ◆取組の平成30年度の市民参加数・実績

なし

※相談者数としては、延べ3,286人

## 4 施策の成果【取組②】（S票）

### ◆取組の令和元年度の成果・目標

要支援者を地域で支え合えるよう、関係団体と連携できる体制づくり

### ◆取組の中期（おおよそ3年後）の成果・目標

要支援者に対して、日頃から身近な住民同士で支える仕組みづくり。目標：6地区

### ◆取組の長期（おおよそ5年後）の成果・目標

要支援者に対して、日頃から身近な住民同士で支える仕組みづくり。目標：10地区

13

## 4 施策の成果【取組②】（S票）

### ◆取組の令和元年度の費用・見込み

地域力強化推進事業委託	42,904千円
-------------	----------

### ◆取組の中期（おおよそ3年後）の費用・見込み

地域力強化推進事業委託	43,000千円
-------------	----------

### ◆取組の長期（おおよそ5年後）の費用・見込み

地域力強化推進事業委託	43,500千円
-------------	----------

14



## 5 環境変化（S票）

### ◆近隣市町の実施状況や施策を取り巻く環境変化

平成29年に社会福祉法が改正され、住民に身近な圏域において地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し、解決を試みることができる環境の整備が、市町村の新たな努力義務とされた。

## 6 改善状況（S票）

### ◆活動エピソード

平成29年度までは、地区社協の設置については、社会福祉協議会補助金の中で実施していたが、平成30年度から、事業の一部を委託事業に組み替え、国庫補助を受託し、市と協働で地域課題に対応できる仕組みづくりに取り組む体制を強化した。

## 6 改善状況（S票）

### ◆改善ポイント

全ての人々が安心して暮らせるよう、市民・団体・事業者・行政など、多種多様な主体が連携して地域づくりを行う体制の構築が必要である。

## 7 評価（S票）

### ◆評価・課題

地域において、市民が主体的に地域生活課題を解決できるようにするためには、CSWが地域の調整役となり、地域で中心となって活動する人材の発掘や市民活動を行う人の組織化、地域資源の効果的な活用などが課題であると考えている。

## 8 施策の今後（S票）

### ◆施策の今後の方向性、改善点

地区社協と行政が連携し、地域力強化のための取組を推進していくため、福祉分野のみならず多分野の部局と方向性を共有し、情報交換等を行いながら、ともに地域へ出向き、地域との話し合いの場を設けて行くことが必要である。

## 9 施策のまとめ（S票）

### ◆施策の課題など

本市は、急激な人口増などにより、人間関係が希薄となり、地域に関心を持っている人が少ないという現状がある。その中で、市民が身近で起こっている問題を他人事ではなく、我が事として受け止め、地域で解決するために主体的に関わってもらうことが課題

### ◆外部評価実施者に助言をもらいたいことなど

地域づくりは、時間をかけて少しずつ行うもので、必ずしも、すぐに評価できるものではない。そのため、例えば、一つの地域で取り組んだ活動について評価検証し、他の地域の活動の足がかりとなるよう助言いただきたい。

# 長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	S11 -	施策名	地区社会福祉協議会の推進		
担当部課	福祉部福祉課	関係部課			

基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ 人がいきいきとつながるまち
	まちづくり行程表・フラッグ	✓ 「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～
	第6次総合計画・基本目標	✓ 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち
	法定受託事務の有無	—
	その他(関係計画、要綱等)	✓ 長久手市地域福祉計画
施策開始の背景、経緯等	少子高齢化人口減少社会を見据え、子ども・高齢者・障がい者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいと共に創り、高め合うことができるよう、市民に身近な圏域において、地域力向上の推進とともに、「地域共生社会」の実現に向けた事業を実施する	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 地区社協を設置し、地域課題を市民が主体的に解決を試みる体制づくりと市民が把握した課題について、包括的に受け止め、必要に応じて支援機関につなぐことのできる体制を構築する
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 市民
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市民が主体的に地域生活課題を把握して、自ら解決を試みることができる。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①		各小学校区ごとに地区社協及びCSWの配置					
	29年度(2017)		30年度(2018)		元年度(2019)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・実績		成果・目標	成果・目標	成果・目標	
	市ヶ洞小学校区及び南小学校区においてCSWを配置した。(西・北は設置済み)		長小校区及び東小校区に地区社協の設置に向け、地域との懇談会を実施した。		長小校区及び東小校区に地区社協及びCSWの設置	部会活動を通じて、主体的に地域生活課題を把握する	部会活動を通じて、主体的に地域生活課題を解決できる	
	費用・実績(細々節名)(金額)		費用・実績(細々節名)(金額)		費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	
	地域力強化推進事業委託	2,122千円	地域力強化推進事業委託	32,149千円	地域力強化推進事業委託	42,904千円	地域力強化推進事業委託	43,500千円
	市民参加数・実績		市民参加数・実績		市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	
	(延べ)	100人	(延べ)	1,853人	(延べ)	2,000人	(延べ)	2,500人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②		福祉のなんでも相談及び声かけネットワーク協力事業					
	29年度(2017)		30年度(2018)		元年度(2019)	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・実績		成果・目標	成果・目標	成果・目標	
	CSWによる地域の課題を包括的に受け止める相談事業の実施		CSWによる地域の課題を包括的に受け止める相談事業の実施		地域の課題を包括的に受け止め、地域で解決に取り組むよう話し合いの場づくり	要支援者に対して、日頃から、身近な市民同士が支える仕組みづくりを行う。目標 6地区	要支援者に対して、日頃から、身近な市民同士が支える仕組みづくりを行う。目標 10地区	
	費用・実績(細々節名)(金額)		費用・実績(細々節名)(金額)		費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	費用・見込み(細々節名)(金額)	
	地域力強化推進事業委託	2,122千円	地域力強化推進事業委託	32,149千円	地域力強化推進事業委託	42,904千円	地域力強化推進事業委託	43,500千円
	市民参加数・実績		市民参加数・実績		市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	市民参加数・見込み	
	(延べ)	人	(延べ)	人	(延べ)	人	(延べ)	人

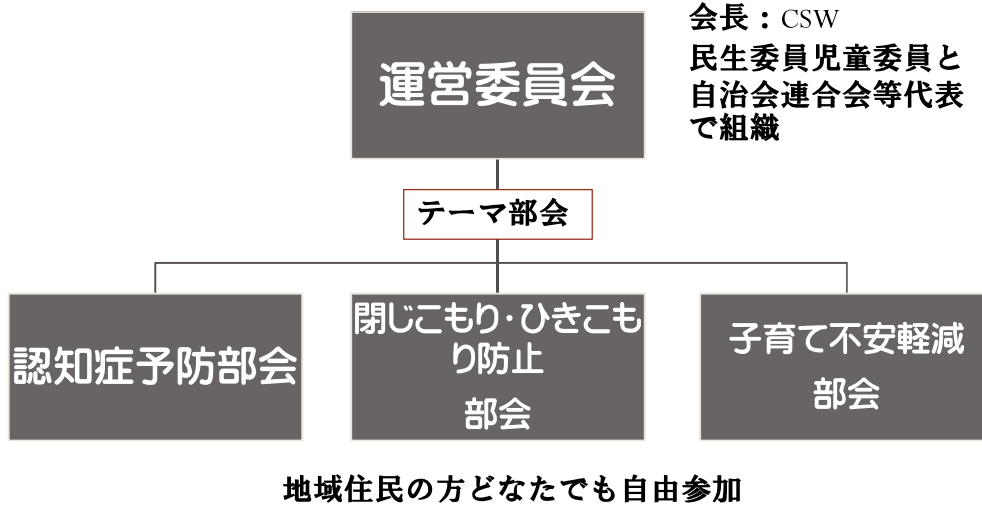
環境変化	他市町での取組状況や施策を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 平成29年に社会福祉法が改正され、住民に身近な圏域において市民が主体的に地域生活課題を把握し解決を試みることができる環境の整備等が市町村の新たな努力義務とされた。
------	-----------------------	---

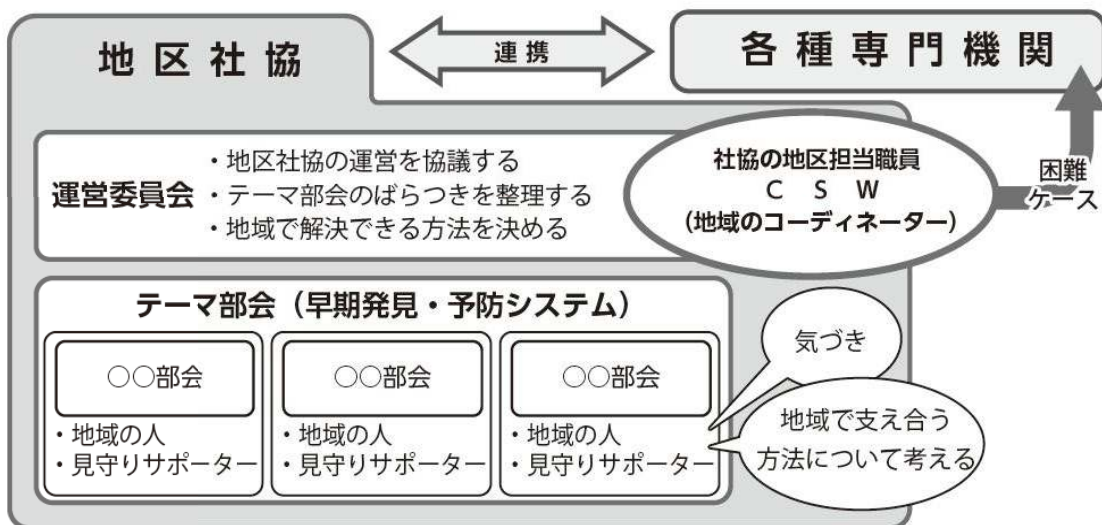
活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 事業の一部を社会福祉協議会に委託とし、市と協働で地域課題に対応できる仕組みづくりに取り組む体制を強化した。
------	---------	---

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 全ての人が安心して暮らせるよう、市民・団体・事業者・行政など、多種多様な主体が連携して地域づくりをする体制の構築が必要。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) CSWが地域での調整役となって、地域で中心となって活動する人材の発掘や市民同士の組織化が課題である。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 地区社協と行政が連携し、地域力強化のための取組を推進していくため、福祉分野のみならず多分野の部局とともに地域へ出向き、地域との話し合いの場を設けていくことが必要。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	・(各小学校区にCSWが設置されているが)CSWへの負担軽減を検討してください。

# 長久手市地区社協



## 地区社協組織体制 イメージ



# 小学校区単位のまちづくり ～まちづくり協議会イメージ図～

